

平成30年度

事業報告

自：平成30年4月 1日

至：平成31年3月31日

公益財団法人 京都技術科学センター

平成30年度事業報告

I 公益目的事業1（研究助成事業）

技術立国日本を支える科学技術の振興を図るため、若手研究者が行う研究開発に必要な経費を助成するとともに、次年度に助成対象とする研究開発テーマを募集し、選考した。

1 平成30年度研究開発助成金の交付

平成29年度第2回定時理事会で決定した研究開発助成テーマについて、研究開発に必要な経費を助成した。

- (1) 名 称 平成30年度研究開発助成金
- (2) 研究開発分野 ものづくりに資する基礎的・応用的研究であって、次の分野に属するもの ・材料技術・機械技術・電気電子技術
- (3) 助成テーマ 14テーマ（一覧表は下記のとおり：応募60テーマ）
- (4) 助成金総額 1,400万円
- (5) 研究期間 平成30年4月から平成31年3月まで 1年間
- (6) 研究成果 別添「研究助成成果報告書」のとおり

平成30年度研究開発助成テーマ等一覧表

No.	研究開発助成テーマ	助成金交付対象者			助成額 (万円)
		所 属	役職等	氏 名	
1	自身の酵素分解生成物が分解を加速するヒドロゲルの開発とバイオマテリアルへの応用	大阪大学大学院基礎工学研究科物質創成専攻	助教 博士(理学)	中畑 雅樹	100
2	剛性特性と減衰特性の独立制御を可能とする機械振動制御アクチュエータの開発	富山県立大学工学部機械システム工学科設計生産工学講座	講師 博士(工学)	寺島 修	100
3	三次元骨組織迅速作製技術の構築を指向したリン脂質ナノフラグメント作製法の確立	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科生体材料学分野	助教 博士(歯学)	Hara Emilio Satoshi	100
4	縦型反転層ダイヤモンドMOSFET実現に向けたNi触媒エッチングを用いた横型Schottky-pnダイオードの開発	金沢大学理工研究域電子情報学系	助教 博士(工学)	松本 翼	100
5	リビング重合を利用した桂皮酸由来多官能性高分子の合成	北陸先端科学技術大学院大学先端科学技術研究科マテリアルサイエンス系	特任助教 博士(工学)	高田 健司	100
6	プラズモン超集束を用いた光駆動トランジスタのナノ集積化技術の開発	大阪大学大学院工学研究科精密科学・応用物理学専攻	助教 博士(工学)	馬越 貴之	100

7	Bcc 型ハイエントロピー合金における特異な力学物性の解明	新居浜工業高等専門学校環境材料工学科	准教授 博士(工学)	當代 光陽	100
8	仮想的な物理モデルに基づく製造要件に関する幾何学制約付トポロジー最適化法の開発	京都大学大学院工学研究科機械理工学専攻	助教 博士(工学)	山田 崇恭	100
9	選択的な分子認識表面を利用した差圧式濃度定量デバイスの開発	京都大学大学院工学研究科材料化学専攻	助教 博士(工学)	内藤 豊裕	100
10	シリコン3次元微細加工を応用した超高感度原子センサ素子の開発	京都大学大学院工学研究科マイクロエンジニアリング専攻	助教 博士(工学)	平井 義和	100
11	多層膜金属触媒を用いたシリコン湿式エッチング技術の開発	関西大学システム理工学部機械工学科	准教授 博士(工学)	清水 智弘	100
12	ラセン高分子の「熱応答性構造記憶能力」に基づく加熱スイッチングキラル固定相の開発	金沢大学理工研究域自然システム学系	特任助教 博士(理学)	廣瀬 大祐	100
13	空気袋の干渉駆動による遊星回転機構の開発	立命館大学理工学部ロボティクス学科	助教 博士(工学)	和田 晃	100
14	ペプチド核酸含有ペプチドを用いた無機物沈殿によるナノ粒子の作製と精製	甲南大学フロンティアサイエンス学部	准教授 博士(工学)	臼井 健二	100

2 2019年度研究開発助成テーマの募集及び選考

2019年度に助成するテーマを募集し、研究助成選考委員会で選考の上、平成30年度第2回定時理事会の承認を得て助成テーマを決定した。

- (1) 助成対象者 北陸地方から中・四国地方までの地域にある理工学部系の大学等に在籍する40歳未満の研究者
- (2) 研究開発分野 ものづくりに資する基礎的・応用的研究であって、次の分野に属するもの ・材料技術・機械技術・電気電子技術
- (3) 募集期間 平成30年11月1日から平成31年1月21日まで
- (4) 応募テーマ数 51テーマ
- (5) 助成テーマ数 14テーマ
- (6) 助成金総額 1,400万円
- (7) 研究助成選考委員会の開催状況

開催年月日	議 題
第1回 平成30年12月19日	1 委員長の選任について 2 2019年度研究開発助成テーマの審査・選考方法について
第2回 平成31年 2月23日	2019年度研究開発助成テーマの選考について

II 公益目的事業2（人材育成事業）

科学技術の振興を担う人材を育成する事業を行った。

1 技術セミナー

ものづくり技術開発の高度化を促進することを目的に、先端技術シーズや研究開発の最前線の状況を紹介するセミナーを開催した。

- (1) 名 称 平成30年度ものづくり先端技術セミナー
- (2) 共 催 公益財団法人京都技術科学センター
京都府中小企業技術センター
- (3) 場 所 京都府産業支援センター5階 研修室
- (4) 内 容

	開催日・テーマ等
第1回	日 時 平成30年7月27日（金） 14:00～16:30 テーマ 「生分解性高分子の化学修飾による複機能性高分子材料の創製」 講 師 奈良先端科学技術大学院大学 研究推進機構 研究推進部門 先端科学技術研究科 物質創成科学領域 ナノ高分子材料研究室 特任准教授 網代 広治 氏 参加者 24名
第2回	日 時 平成30年9月18日（火） 14:00～16:30 テーマ 「ナノセルロースの産業展開～基礎・応用・課題～」 講 師 国立研究開発法人 産業技術総合研究所 中国センター 機能化学研究部門 セルロース材料グループ グループ長 遠藤 貴士 氏 参加者 26名
第3回	日 時 平成30年11月30日（金） 14:00～16:30 テーマ 「構造接着技術の最近の動向」 講 師 東京工業大学 科学技術創成研究院 准教授 佐藤 千明 氏 参加者 28名
第4回	日 時 平成31年1月24日（木） 14:00～16:30 テーマ 「大気圧プラズマの基礎と産業応用事例」 講 師 公益財団法人 名古屋産業振興公社工業技術振興部産業応用課 課長 高島 成剛 氏 参加者 54名

- 2019年度は、京都府中小企業技術センターとの共催で、ものづくり先端技術セミナーを4回開催するとともに、新たにマイクロ波・ミリ波セミナーを3回開催することとなった。

2 技術研究会

(1) 品質工学研究会

ア 京都品質工学研究会

将来起こるかもしれない製造上のトラブル等を未然に防止し、安定した設計・製造技術を効率良く開発するための手法として広く活用されている品質工学を学び、実践し、交流する場として京都品質工学研究会を開催した。

- a 名称 京都品質工学研究会
- b 共催 公益財団法人京都技術科学センター
京都府中小企業技術センター
- c 場所 京都府産業支援センター5階 研修室
- d 参加者 法人会員10名、個人会員4名
- e 内容

例会	日時	内容
第1回	6月8日(金)	講演「評価技術としての品質工学とその狙い」及び事例発表等 講師：TM実践塾 芝野 広志 氏
第2回	8月3日(金)	京都・滋賀・関西・中部の各品質工学研究会の合同例会 (京都)
第3回	9月7日(金)	講演「品質工学の面白さ～機能性評価とパラメータ設計を中心に～」 講師：TM実践塾 芝野 広志 氏
第4回	12月14日(金)	講演「パラメータ設計における水準ずらしの効果について」 及び演習 講師：(有)アイテックインターナショナル 中野 恵司 氏
第5回	2月8日(金)	「参加者からの質問に対する解説」 講師：(有)アイテックインターナショナル 中野 恵司 氏

イ 関西品質工学研究会

関西品質工学研究会が主催する品質工学シンポジウムを共催した。

- a 名称 品質工学シンポジウム2018 in きょうと
- b 主催 関西品質工学研究会
- c 共催 公益財団法人京都技術科学センター
京都、滋賀、中部、広島各品質工学研究会
- d 開催日 平成30年10月9日(火)
- e 場所 京都リサーチパーク サイエンスホール
- f 内容 招待事例発表3件、研究発表4件、講評
- g 参加者 85人

- 京都品質工学研究会が平成30年度をもって終了することに伴い、2019年度も関西品質工学研究会とシンポジウムを共催することとなった。

(2) CAE技術研究会

CAE (Computer Aided Engineering) の概説、実習、事例研究等を通じて、設計者が生産プロセス開発に必要なデータの収集・解析など日常業務に活用できる技術を修得することを目的にCAE技術研究会を開催した。

ア 名称 CAE技術研究会
 イ 共催 公益財団法人京都技術科学センター
 京都府中小企業技術センター
 ウ 場所 京都府産業支援センター5階 交流サロン
 エ 参加者 関連企業等の技術者(新規3名、継続3名)
 オ 講師 田村技術士事務所・京都府特別技術指導員 田村隆徳氏
 株式会社島津製作所 CS統括部 笠井貴之氏
 カ 内容

例会	開催日	内容
平成30年		
4月度	4月25日(水)	CAE概論の講義、課題説明 ADINAの操作説明と習得
5月度	5月9日(水)	複雑な形状の線形解析の習得 材料力学の基礎の習得
	5月23日(水)	線形構造解析の実習
6月度	6月6日(水)	非線形構造解析の習得
	6月20日(水)	CAEの非線形解析の実習
7月度	7月4日(水)	熱解析の習得
	7月18日(水)	CAEの熱モデル解析の実習
8月度	8月8日(水)	熱応力解析の習得
	8月22日(水)	CAEの熱応力モデル解析の実習
9月度	9月5日(水)	振動解析の習得
	9月19日(水)	事例研究の準備
10月度	10月10日(水)	事例研究
11月度	11月7日(水)	事例研究
12月度	12月5日(水)	事例研究
平成31年		
1月度	1月9日(水)	事例研究
2月度	2月6日(水)	事例研究
3月度	3月15日(金)	事例研究発表・講演

※開催時間は、いずれも10:00~17:00

- CAE技術研究会は、所期の役割を終えたと判断し、平成30年度をもって終了した。
- 2019年度は、京都府中小企業技術センターとの共催で、新たに機械設計・計測技術研究会と、ものづくり分析評価技術研究会を開催することとなった。

3 テクノアイデアコンテスト

将来の産業・科学技術の発展を担うベンチャー精神に富んだ起業家や柔軟でユニークな発想を持つ研究者を育成するため、科学技術やものづくりへの関心を高める取組の一環として、高校生や大学生等を対象に、技術に関する独創的なアイデアを募集し、書類審査を経てコンテスト（プレゼンテーションと最終審査）を行い、優れたアイデアを表彰した。

また、特許出願等の相談及び参加者と実行委員・選考委員等による交流会を開催した。

(1) 主催等

ア 名称	テクノ愛2018
イ 主催	テクノ愛実行委員会
ウ 共催	公益財団法人京都技術科学センター 京都大学産官学連携本部
エ 後援	文部科学省、近畿経済産業局、京都府教育委員会、京都市教育委員会、NHK京都放送局、国立研究開発法人科学技術振興機構、日本ベンチャー学会、関西ベンチャー学会
オ 協賛	大阪大学産学共創本部、神戸大学学術・産業イノベーション創造本部、京都工芸繊維大学研究戦略推進本部、大阪電気通信大学、関西サイエンス・フォーラム
カ 協力	京都大学生生活協同組合

(2) 募集等

ア 募集対象	高校の部：高校生、高等専門学校1～3年生 大学の部：大学生、大学院生、高等専門学校4・5年生、専攻科生等
イ 募集期間	平成30年6月1日～平成30年9月12日
ウ 応募状況	高校の部 23校・144件（学校所在地：青森県～福岡県の15都府県） 大学の部 16校・48件（学校所在地：埼玉県～沖縄県の11府県）

(3) 書類審査

- ア 選考委員による書類審査で、コンテストに進む高校の部、大学の部各9テーマを選考した。
- イ コンテストで発表しなかったテーマのうち、書類審査で健闘したと認められた高校の部9テーマ、大学の部6テーマに対し、コンテスト当日の審査で健闘賞を授与することを決定した。

(4) コンテスト等の開催

書類審査で選考された18テーマのうち、直前に辞退した高校の部1テーマを除く17テーマについて、コンテスト（発表・最終審査）を行うとともに、特許相談及び交流会を開催した。

ア 日時	平成30年11月23日（金・祝日） 9:15～16:50
イ 場所	コンテスト：京都大学国際科学イノベーション棟 シンポジウムホール 交流会：京都大学国際科学イノベーション棟 ホワイエ
ウ 入賞	高校の部：グランプリ1件、準グランプリ1件、優秀賞1件、奨励賞5件 大学の部：グランプリ1件、準グランプリ1件、優秀賞2件、奨励賞5件 総合の部：テクノ愛賞1件 ※入賞の内容は、下記一覧表のとおり
エ 特許相談	特許の出願方法等に係る相談
オ 参加者	98名

テクノ愛2018入賞テーマ等一覧表

<高校の部>

賞名	テーマ	学校名	氏名
グランプリ	鮮度の数値化 ～酸化に伴う吸光度変化測定装置の開発～	奈良女子大学附属中等教育学校	熊谷充弘
準グランプリ	電気を用いたナメコの新しい発生方法	青森県立名久井農業高等学校	坂本成海 大平竜福 佐々木円花 岡堀有希 加藤大樹
優秀賞	農業用ドローンを活用した果樹の溶液受粉	青森県立名久井農業高等学校	船田早希 遠藤祐希 上野桃華 菅原菜癒 風張彩 鈴木麻鈴 沢山華奈 東さくら 廣瀬晴香 梅田のりか 砂庭亜季 川守田舞子 高杉怜那 榎木平慧
奨励賞	お得でエコなコーヒー炭	岡山県立玉島高等学校	福島優乃 長田巧太 白神海斗 渡邊玲奈 板谷由翔 中山智可良 岡本夏実 仲江百代
	人工衛星に対して位置を提示する簡易で多機能な反射板	山口県立山口高等学校	吉岡潤哉 岡村真碧 柳井悠 岩村明優果 光田圭佑 三原知也
	墨作りの原理を活用した炭素微粒子の水への分散	奈良県立西和清陵高等学校	藤田健斗 中村一稀 石戸海斗 谷山功貴 仲谷和也
	河道掘削での流速変化による生態系への影響を考慮した掘削法の提案	兵庫県立加古川東高等学校	福島陸斗 窪田航介 幸野七海 分玉康太
	金コロイドを用いた、システインの定量法	仁川学院高等学校	川村ヒカル

<大学の部>

賞名	テーマ	学校名	氏名
グランプリ	「鍵閉めたっけ問題」の解決策	大阪大学	金山雄星 岡田丈

準グランプリ	外の気配を表出する疑似窓	九州女子大学	村上麻鈴音 福井優美 丸谷沙楽 山根瑠莉
優 秀 賞	Photalk: ライダーが見た感動の景色を切り出す	京都工芸繊維大学大学院	小原宗一郎 家原瞭 三谷季生 三谷全哉 和田夏未
	超高感度磁気計測と画像再構成法を用いた世界初の次世代防犯検査システム	神戸大学大学院	鈴木章吾
奨 励 賞	からだフープ	京都工芸繊維大学大学院	北方誉之 綱島卓也 和田沙樹 河西真広 山下浩志
	分散系 ER 流体を用いた点字ディスプレイ	神戸市立工業高等専門学校	阿部佑貴 山田標太
	蒸散作用を持った遮熱カーテン	福井大学	田島拓実
	場所の概念を変える遠隔コミュニケーションロボット“エコロ”	日本工業大学	磯部佑太 上村勇太 宇南山直紀
	ゴミを欲しがらるゴミ箱 PAKU PET's	京都工芸繊維大学大学院	小崎雄大 小袖詩恩 横瀬健斗 小野理彩子 鶴田穰士

<テクノ愛賞>

賞 名	テーマ	学校名	氏 名
テクノ愛賞	墨作りの原理を活用した炭素微粒子の水への分散	奈良県立西和清陵高等学校	藤田健斗 中村一稀 石戸海斗 谷山功貴 仲谷和也

健闘賞受賞テーマ等一覧表

<高校の部>

賞 名	テーマ	学校名	氏 名
健 闘 賞	卵殻の複数成分を有効活用した無機材料開発	米子工業高等専門学校	田中泰斗 橋本真弦
	石仏鉱泉での海へのフルボ酸鉄供給方法と自動供給装置案	大阪府立長野北高等学校	清水大河
	旧式家電を最新化・IoT化デバイスの開発	名城大学附属高等学校	加藤駆流 中山俊太
	人工知能を搭載したYuseiBoxの制作	祐誠高等学校	芹田匠 松門龍平 七樂樹

健 闘 賞	食べれる“グミ”ストロー	京都府立園部高等学校	中村明日美
	米のとぎ汁に咲く花～バイオリアクターを用いた肥料の作成～	新潟県立新潟南高等学校	和田飛鳥 兼田真那 佐竹聖真 野澤みゆ
	乾燥による農業不適地に特化した機能性エモリエントバイオセメントの開発	和歌山工業高等専門学校	中嶋夢生 柏原睦樹 園部啄巳
	自動開閉式傘『ぬれまセンス』	京都市立京都工学院高等学校	黒田晃大朗 安田凌 川村天遥 堀井進太郎 里優希 大川内奏人
	とるっちきす!	新居浜工業高等専門学校	田所千奈 田中萌

<大学の部>

賞 名	テーマ	学校名	氏 名
健 闘 賞	コドンジャラ	和歌山工業高等専門学校専攻科	北野佑磨 石井健登 宮本章弘 竹本拓馬 中村友香 廣田有輝 坂上裕起
	お食事「見マモル君」	金沢大学大学院	友水豪志
	地域型保育事業における保育者の支援サービス	京都橘大学	松岡陽歩 芦田恵
	街中スポットライト	武庫川女子大学	杉浦詩織
	魚と植物が魅せる癒しの楽園	沖縄工業高等専門学校	大城尚泰 奥浜駿 辻野拓音
	日本科学研究技術力の向上に貢献できるプラットフォームサービス（DATAS）の開発	広島大学	管仕成 高須貫太 後久保真奈美

(5) 委員会開催状況

ア テクノ愛実行委員会

開催年月日	場 所	主 な 議 題
第1回 平成30年7月27日	(書面会議)	1 実行委員会委員長の選任について 2 テクノ愛2018開催要領について
第2回 平成30年11月23日	京都大学	1 テクノ愛2019の開催日程等について 2 テクノアイデアコンテストの改善・見直しについて

イ テクノ愛選考委員会

開催年月日	場 所	主 な 議 題
第1回 平成30年9月14日 ～10月10日	(書類審査)	1 テクノ愛2018書類審査について
第2回 平成30年11月23日	京都大学	1 テクノ愛2018最終審査について 2 テクノ愛2018健闘賞の選考について

- 2019年度は、6月3日(月)～9月11日(水)に応募を受け付け、書類審査を経て11月23日(土・祝日)に京都大学においてコンテストを行うこととなった。

4 科学館・技術館訪問研修

中学生及び高校生の科学技術への関心を高めるため、夏休み期間を利用して、株式会社SCREENホールディングス久御山事業所を訪問し、研修会を開催した。

- (1) 名 称 科学館・技術館訪問研修
 (2) 主 催 公益財団法人京都技術科学センター
 (3) 後 援 近畿経済産業局、京都府教育委員会、京都市教育委員会
 (4) 日 時 平成30年8月1日(水) 13:30～15:40
 (5) 場 所 株式会社SCREENホールディングス久御山事業所
(京都府久世郡久御山町佐山新開地304-1)
 (6) 参加者 中学生・高校生及び教員等 26人
 (7) 内 容 ガラススクリーンの表面処理・画像処理・直接描画の技術を発展させて印刷関連機器の製造から半導体製造装置、ディスプレイ製造装置などの製造へと事業を多角化してきた歩み、印刷の原理(シアン、マゼンタ、イエロー、ブラックの4色の組み合わせで印刷)の説明の後、この原理を理解するため4枚ずつのシートを並び替えて絵を完成させるグループワークをした。
- 次いで、久御山事業所で製造しているグラフィックアーツ製品(印刷機、文字フォントなど)の紹介の後、シールやラベルをロール基材に印刷するラベル用UVインクジェット印刷機や、ダイレクトメールなどを高速で印刷するフルカラーデジタル印刷システムによる印刷のデモを見学し、最後に印刷機を製造する生産現場を見学した。
- 会社紹介、絵合わせ、製品紹介、印刷実演、生産現場見学の5つのパートに分け、分かりやすく、飽きさせない、工夫を凝らした研修であったため、アンケートでは全てのメニューで「興味を深めた」との回答が多数寄せられた。
- 連日の猛暑もあり参加者は少なかったが、この研修を通じて「中学生・高校生の科学技術への関心を高め、わが国の産業の発展に寄与する」という所期の目的を達成することができた。

- 2019年度は、8月6日(火)に京都市左京区静海市原町にある株式会社川島織物セルコン本社 市原事業所を訪問することとなった。

5 おもしろサイエンス

小学生に、科学実験・工作イベントを通じて学び・知り・作ることの喜び、楽しさを体験させ、科学への関心や理解を深めるため、実験教室を開催した。

(1) 主催等

- ア 主催 公益財団法人京都技術科学センター
- イ 後援 京都府教育委員会、京都市教育委員会
- ウ 協力 サイエンスEネット

(2) 開催状況

(第1回)

- ア 名称 クリスマスの実験教室
- イ 日時 平成30年12月22日(土)
午前の部 11:00~12:00 午後の部 14:00~15:00
- ウ 場所 京都技術科学センター1階 B会議室
- エ 参加者 午前の部 小学生17名(親子15組)
午後の部 小学生18名(親子14組)
- オ プログラム 圧電発電の解説と作製
水晶や石英などの結晶に圧力や振動を加えると結晶構造がひずみ、結晶中の陽イオンと陰イオンのバランスが崩れ、そのため大きな電圧が生じ、電気が流れるという圧電発電の仕組みを解説していただいた後、圧電素子を使ってLEDライトを光らせた。

(第2回)

- ア 名称 春の実験教室
- イ 日時 平成31年3月23日(土)
午前の部 11:00~12:00 午後の部 14:00~15:00
- ウ 場所 京都技術科学センター1階 B会議室
- エ 参加者 午前の部 小学生17名(親子15組)
午後の部 小学生17名(親子14組)
- オ プログラム 手回し発電機の解説と作製
手回し発電機は、モーターを手動で回すことで電磁誘導によって生み出される誘導電流を取り出す発電方法であり、モーターと発電機の仕組みが同じであることを解説していただいた後、手回し発電機を作成した。

- 「長期ビジョンの実施計画」で夏休みと冬休みの期間に開催することとなったが、2019年度は、当センター本館の大規模修繕工事が9月末まで予定されていることから、夏休みは開催しないこととした。

6 科学技術情報等提供

ホームページ(HP)を活用し、当センターが実施する事業に関する情報を提供し、応募者や参加者の拡大を図った。また、研究開発助成テーマ、テクノアイデアコンテストの入賞アイデア、おもしろサイエンスのプログラム等を掲載し、啓発に努めた。

その他、当センターの沿革・概要、事業計画・事業報告、収支予算・決算状況をHPに掲載した。

Ⅲ 収益事業

本法人が所有する建物・土地を事務室、研究室、倉庫、収納庫及び駐車場として賃貸するとともに、会議室・ホールを貸し出し、その収益を公益目的事業の実施に活用した。

1 施設の賃貸

(1) 利用者増加の取組

HPで貸室の空き情報をきめ細かく広報するとともに、施設の環境改善を行った。

- ・貸室の改修・修繕（内装、照明、エアコン、電気設備等）及び床の清掃
- ・廊下・階段の天井・床・照明の改修及び床の剥離清掃
- ・トイレの改修
- ・外構補修

(2) 利用状況（ア～ウは、平成31年3月31日現在）

ア 事務室・研究室・倉庫の利用者数	38団体（平成29年度	38団体）
イ 収納庫使用室数	19室（同	19室）
ウ 駐車場使用台数	41台（同	43台）
エ 会議室等利用件数	94件（同	75件）

2 建物・設備等の管理

(1) 主な改修・修繕工事

ア 外構補修工事

本館敷地の共有者であるマンハイム鴨川管理組合と共同で、平成30年7月11日～8月2日に外構補修工事を実施した。（設備投資2,438,759円）

- ・老朽化した雨水排水施設（側溝・柵）の改修
- ・アスファルト舗装で劣化が著しい箇所の復旧等

イ 地階西側男女トイレの改修工事

トイレ改修計画の第一番目として、平成31年2月23日～3月19日に地階西側男女トイレの改修工事を実施した。（設備投資5,501,000円、修繕費493,000円）

ウ 本館建物の大規模修繕工事

本館建物の共有者であるマンハイム鴨川管理組合と、躯体補修・外壁塗装・屋上防水・雨樋取替等の大規模修繕工事を2019年度上半期に行うことを確認し、見積書を提出した6社の中から1社（大和技研株式會社）を選定し、平成31年3月28日に三者で工事請負契約を締結した。

エ 屋上のビル用マルチエアコン室外機、排気ダクト等の撤去

大規模修繕工事に先立ち、平成31年2月16日に屋上にあるビル用マルチエアコンの室外機、排気ダクト等（平成11年設置）を撤去した（修繕費1,717,200円）。

オ 地階研究室のエアコン取替等工事

エに伴い、ビル用マルチエアコンを使ってきた地階の研究室のうち、入居中又は入居予定のある3研究室のエアコンを個別エアコンに切り替える等の工事を平成31年1月7日～1月31日に実施した。（設備投資4,907,000円、修繕費93,400円）

- ・個別エアコンを計8台設置
- ・電気室に動力盤（8回路）、電力量計（3台）、各室に手元開閉器（計7台）を設置
- ・2研究室に単相用電力量計を設置

(2) その他の改修・修繕工事

ア 改修工事（設備投資）

- ・貸室内装等改修 (1,186,000 円)
- ・西側階段・地階ホール天井改修 (497,000 円)
- ・1階北通用口天井新設 (498,000 円)
- ・貸室エアコン更新 (238,680 円)
- ・廊下照明器具更新（LED化） (332,640 円)
- ・貸室電気設備改修 (236,000 円)

イ 修繕工事

- ・貸室天井・扉修繕 (581,040 円)
- ・エアコン修繕 (2件、17,280 円)
- ・照明器具修繕 (3件、147,420 円)
- ・電力量計修繕 (24,840 円)
- ・トイレ手洗用水道修繕 (27,000 円)
- ・1階廊下の天井漏水箇所修繕 (54,000 円)
- ・ドア・自動ドア・錠修繕 (9件、157,572 円)
- ・換気扇の修繕 (24,840 円)
- ・消防用設備修繕 (2件、110,160 円)
- ・1階廊下の床タイル修繕 (69,120 円)
- ・その他既設設備撤去・処分等 (4件、356,440 円)

(3) 保守管理

トイレ・床等の日常清掃のほか、次の特別清掃、排水作業を行った。

- ・1階北通用口の床の剥離清掃 (36,720 円)
- ・貸室（4室）の床の清掃 (111,024 円)
- ・7月上旬の西日本豪雨によるドライエリア等への浸水及び地下ピット内湧水の排水作業 (657,720 円)

IV センターの運営

1 センターの概要（平成31年3月31日現在）

設 立	昭和17年12月28日	財団法人京都技術科学館として設立
	昭和35年12月27日	財団法人近畿地方発明センターに名称変更
	平成24年 4月 1日	公益財団法人京都技術科学センターに名称変更
評議員	13名	
役 員	15名（理事13名 監事2名）	
委 員	研究助成選考委員会委員	6名
	テクノ愛実行委員会委員	7名
	同 選考委員会委員	11名
事務局	常務理事1名、事務局長1名、参事1名	

2 理事会の開催状況

開 催	議 題	備考
平成30年度 第1回定時理事会 平成30年5月28日	I 決議事項 1 平成29年度事業報告の承認の件 2 平成29年度決算の承認の件 3 長期ビジョンの決定の件 4 平成30年度定時評議員会の招集の件 II 報告事項 1 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況報告について 2 建物賃貸借契約者の異動状況について	
平成30年度 第1回臨時理事会 平成30年6月12日	I 決議事項 1 理事長、副理事長及び常務理事の選定の件 2 顧問の委嘱の件 II 報告事項 1 長期ビジョンについて 2 長期ビジョン検討委員会及び建物等管理委員会について	
平成30年度 第2回臨時理事会 平成31年1月22日	I 報告事項 1 長期ビジョンの実施計画（案）について 2 建物賃貸借契約者の異動状況について	
平成30年度 第2回定時理事会 平成31年3月22日	I 決議事項 1 長期ビジョンの実施計画の決定の件 2 2019年度事業計画書の承認の件 3 2019年度収支予算書等の承認の件 4 2019年度研究開発助成金交付対象者等の決定の件 II 報告事項 1 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況報告について 2 建物賃貸借契約者の異動状況について	

3 評議員会の開催状況

開催	議題	備考
平成30年度 定時評議員会 平成30年6月12日	I 決議事項 1 評議員の選任の件 2 役員の選任の件 3 平成29年度決算の承認の件 II 報告事項 1 平成29年度事業報告について 2 長期ビジョンについて 3 建物賃貸借契約者の異動状況について	

4 監事監査

開催	内容	備考
平成30年5月17日	平成29年度事業報告及び決算の監査	

5 長期ビジョンの実施計画の策定

当センターの今後20年間の取組方向を定めた長期ビジョンの最初の5年間の取組内容について定めた実施計画を下表の審議を経て策定した。

実施計画の項目は、次のとおり。

- ① 実施計画の計画期間
- ② 公益目的事業の見直し
- ③ 収益事業
- ④ 建物・設備の改修等
- ⑤ 人員体制
- ⑥ センターの今後の在り方

(検討状況)

開催	内容	備考
7月月例会議 平成30年7月9日	1 実施計画の検討スケジュール等について確認した。 2 公益目的事業の見直しの方向について協議した。	
8月月例会議 平成30年8月10日	1 収益事業（資産有効活用）及び建物・設備改修に係る実施計画のたたき台について協議した。	
9月月例会議 平成30年9月7日	1 技術研究会の見直しについて報告した。 2 トイレの改修計画について協議した。	

10月月例会議 平成30年10月9日	<ul style="list-style-type: none"> 1 実施計画（素案）について協議した。 2 技術研究会の見直しについて報告した。 	
11月月例会議 平成30年11月9日	<ul style="list-style-type: none"> 1 実施計画（案）について協議し、了承した。 2 技術研究会の見直しについて報告した。 3 大規模修繕工事について報告した。 	
平成30年度 第2回臨時理事会 平成31年1月22日	<ul style="list-style-type: none"> 1 実施計画（案）を報告し、意見交換した。 	
平成30年度 第2回定時理事会 平成31年3月22日	<ul style="list-style-type: none"> 1 実施計画を提案し、全員異議なく決定された。 	

事業報告の附属明細書

定款第8条第1項第2号に規定する事業報告の附属明細書は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する平成30年度事業報告の内容を補足する重要な事項が存在しないので作成しない。